

## 第2回 大鳴門橋自転車道検討部会

日時：令和6年1月26日（金）13:00～

場所：大鳴門橋架橋記念館エディ

1階会議室

### ～ 議 事 概 要 ～

- 議事（1）大鳴門橋自転車道の検討状況について
- 議事（2）路面標示（矢羽根、ピクト等）について
- 議事（3）周遊ルート（大鳴門橋自転車道～UZU PRAK）について

（事務局）

【資料1、2】により説明

（山中部会長）

資料2の12ページの横断施設について、通常の横断歩道にはならないのでしょうか。何か理由があって法定外標示になっているのでしょうか。

（警察本部 交通規制課）

自転車横断帯を設置した場合、自転車はそこを渡らなければなりませんので、この箇所に整備すれば、横断帯設置箇所から離れたところを横断することが规则的に厳しくなってしまいます。

横断できるところは制限を設けないことも必要ではないでしょうか。路外からの横断になることから、横断帯設置の必要性は低く、法定外標示で対応できるという考えです。

（山中部会長）

路外が手前側にしかないので、横断歩道にするのも変なんですかね。歩行者は手前の歩道しか通らないので、歩行者の横断は想定していないということですね。

（中西部会員）

渦の道にアプローチ橋が新設されると思いますが、自転車は新設された橋のみを通行するのでしょうか。それとも既設の橋と両方を通行するようになるのでしょうか。

（事務局）

自転車は新設するアプローチ橋のみを通行いただく方針です。

（中西部会員）

それであれば、横断帯が生きてくると思います。

（事務局）

渦の道のエントランスの中からアプローチ橋に向かって、自転車が内側を通

り、歩行者が外側を通る通行区分を考えておりますので、自転車が既設橋も通行可能としてしまうと、歩行者の動線と錯綜してしまいます。

(中西部会員)

思ったように利用者が動いてくれないかもしれません。

やはり、ピクト、案内板、ゲート等で誘導が必要だと思います。

(事務局)

ゲートを設置するとさらに通行空間が狭くなりますので、困難です。路面にサインを設置して誘導したいと考えています。

(中西部会員)

利用者の目線が、大鳴門橋へ来たら橋を見るところなので、上に向いてしまいがちになると思います。ですので、風の問題もあるとは思いますが、路面に設置するよりは、上の方に視覚的にわかるものを設置した方が、わかりやすく、区分もしやすいのではと思います。

あと、資料1の7ページの大鳴門橋自転車道のエントランスですが、渦の道の看板が入口前に付くと思います。お越しになった方はこの前で写真撮りたいはずなんです。その場合ですが、ここにある程度の駐輪場がないと、好き勝手に自転車を置かれてしまいます。鍵もされると思うので、鳴門っぽい駐輪設備を作ってもらえるといいと思います。

マンホールの蓋でもニュースになりました。私もあれを見たいと思ったんです。だから県外の人に来て、「この駐輪場イカすやん！」っていうような駐輪場がここにあって、写真撮れますよ、となれば、ソーシャルネットワークを使って、無料でみんなにコマーシャルしてもらえる場所になります。

だから、お迎えするとしたら、駐輪場がこの場所に必要だということです。加えて、新設のトイレの前に駐輪場がないと、自転車の人がトイレを使えないと思います。

(事務局)

繁忙期にはこのあたりは非常に混雑します。そこに自転車をたくさん置くことになると歩行者の待合スペースが無くなってしまいますので、自転車は速やかに外に出ていただけるようにしたいと考えております。

(中西部会員)

資料1の7ページにあるエントランスの前はデッドスペースだと思います。

ベンチや案内看板をそのまま残すのであれば、デッドスペースにならないですが、入口がここまで広がったらベンチ等が残るのかという疑問があります。やはりここにある程度は駐輪スペースがあった方がいいと思うんですね。

(事務局)

エントランスの前は現状、団体ツアーの説明等で活用しています。自転車利用者のトイレは、エディまで誘導しようと考えているところです。

(中西部会員)

新設するトイレは歩行者用ということですね。それなら、案内看板がないと、

トイレの前に自転車を置かれてしまうと思います。

(事務局)

エントランス前に駐輪場を設けてしまうと、団体客が来た場合に説明する場所がなくなってしまうので、ここに駐輪場を設けることは難しいと考えております。ただし、アプローチ橋を出たところの歩道には少しスペースがありますのでこういったところの活用ができないか、検討したいと思います。

(中西部会員)

とにかく何とか映えさせないといけないと思います。自転車を持って写真を撮るんですよ。ただ、撮影する人は自転車を離すわけじゃないですか。1人で来たら、看板に自転車を置いて、その看板と一緒に自転車を撮るんですよ。例えば、自撮り棒で、自分の自転車とこの看板とで絶対に写真を撮り出すはずなんですよ。歩行者も同じですね。

説明で私が疑問に思ったのはトイレの利用と、どこで写真を撮らせるつもりなのかということです。

(山中部会長)

アプローチ橋も1mほど拡幅するんですよ。

(事務局)

1m拡幅しますが、自転車が入ってくれば、それほどスペースに余裕はないと考えています。

(中西部会員)

例えば、斜め置きで3台、4台でいいので、少し置けたらそれでいいと思います。駐輪禁止って書くのも変な話ですね。

(山中部会長)

結局、手すりがあれば置かれてしまうかもしれませんね。写真を撮る間ぐらいの話ですからね。

(中西部会員)

これは今、駐輪場を作ってほしいと言っているのではなくて、今後の検討課題として何かした方が絶対にいいと思うだけです。

(事務局)

今のアプローチ橋の状態に対して、拡幅してもこの程度ですので、そんなに広がったとは感じられないと思います。通路の一部を1m拡幅しますが、自転車の通行が増えますので、実際はちょっと狭くなったと感じる方もいるかもしれません。奥の方は2m幅員の橋を新設します。

(山中部会長)

今でも混んでるときは歩行者がずっと外まで並んでますよね。その中で自転車を持ってるからとんでもなく混むというよりは、混じってるといった感じですよ。

(森下部会員)

先ほど中西部会員がおっしゃった、「映える」というのは本当に大事だと私

も思っています。鳴門側の自転車道の利点としては、やはり写真が撮れるところがあるということだと思います。

渦の道の入口に行ったときに写真を撮りたいというのはもちろんだと思いますし、あとは資料1の12ページにエディと大鳴門橋の自転車道を上から見た図がありますが、エディから第1駐車場に向けて、高速道路の上を渡る陸橋があるんですよ。実はここから見る大鳴門橋、つまり高速道路の上のど真ん中を写真で写す人っていうのは本当に多いです。

これは淡路側にはないわけなんですね。もちろんここは歩行者の通路なので、自転車を通してくださいということではないんですけど、やはり写真を撮るポイントだと思っています。そういったところを上手く活用できたらいいんじゃないかなと思いました。いろいろと構造的な問題があると思うのですが、徳島県側のスポットを潰さずに、上手く出していければいいと思います。

(中西部会員)

実は作らなくても潜在的にたくさんあるみたいなので、他にもあるのではみたいを探してもらうのも楽しいと思っています。千畳敷のところから自転車と写真を撮るのも綺麗ですし、いろんな撮り方があると思います。ビジターセンターで、こういう写真が撮れますよみたいな情報が手に入るともったいいかもしれないですね。

(事務局)

撮影スポットの紹介の仕方や、駐輪スペース確保の問題について、引き続き検討しながら進めたいと思います。

(中西部会員)

あと、ピクトの本当の意味を皆さんに知っていただいた方がいいと思います。矢羽根は自転車が優先的に通れる場所じゃないんだよ、という話。ちょっと誤解してる人が多いですが、自転車の通行が優先される場所じゃないですよ。

(山中部会長)

ルール上、自転車も通る場所ということだから、矢羽根は自動車に踏まれても仕方がない。道路交通法上、自転車もそこを通るのがルールってことです。そして、自転車は車両と同じ方向に左側通行するのが一番安全です。

(中西部会員)

サイクリストは優先的に通れるところとってる人が多い印象です。ではなくて、わかりやすいようにそうやっているだけということはこの部会の出席者全員が認識として持っておいた方がいいです。

(藤岡部会員)

大鳴門橋自転車道でのルールは施設側で決められるというお話でしたけど、道路交通法に基づいて設定するのがいいと思いますね。

(山中部会長)

大鳴門橋自転車道は道路交通法はかからないですけど、いわゆる道路法上の自転車専用道路のようにする。

(藤岡部会員)

道路交通法を充分に知らないで、自転車に乗ってる人もいらっしゃると思います。罰則もあるので、そういうことはしっかり知っておいてもらわないといけないですね。

(事務局)

車道については道路状況により、自転車専用通行帯も整備できますが、整備できないところは、矢羽根による車道混在で整備させていただきたいと考えております。車のドライバーに対して、ここは自転車を通る可能性があるので気をつけてくださいねという意味を込めて。

(山中部会長)

鳴門公園内の一方通行について、普通自転車を除くとするか、軽車両を除くとするのかがあって、どっちにするかという検討を、警察さんと議論させていただくようになると思います。大鳴門橋自転車道で受け入れる自転車の種類にも関係してくるんですけど。

(森下部会員)

基本的にここは時間帯によっては車が通れないんですが、進入してくる車が多いというのが問題だと思うんです。

(事務局)

10時から16時の間は車が進入禁止です。

(森下部会員)

それが徹底されてないっていうのが引き金になって、もし事故でも起こったらと、私たちはその点を非常に危惧しています。

(藤岡部会員)

事故が起こった場合に、ルールに則ってしているところと、そうでないところではもう責任の大きさが全然違いますよね。

(森下部会員)

基本的に自転車が通行する時間帯は、車両がいなくてというのが理想ですね。

(山中部会長)

関係車両以外ですね。許可車というか。

(事務局)

高速道路の下のボックスカルバートがこの一方通行解除区間に含まれていません。そこに現状の一方通行方向とは逆向きに矢羽根等を入れようとしているのですが、トンネル内部が暗くて見えにくいということがあります。

地元の方にお話を伺ったところ、夕方は夕日が車運転してる人の目に入ってくるので、向かいから来る自転車を視認できない可能性があるといったご意見もありました。この箇所の方通行解除にあたっては、どれだけの安全対策ができるかにもよりますので、警察と協議をしているところです。自転車の回遊性を高めるために引き続き検討していきたいと考えています。

(山中部会長)

車道幅員ってどのくらいあるんですか。

(事務局)

5mはないです。

(中西部会員)

第1駐車場の前は少し押さないと駄目なんです。第1駐車場の前から鳴門山トンネルに入るのが車道に出れないので難しい。だからそれも実は問題になるところで、周回ができない。

(山中部会長)

駐車場から鳴門山トンネルの方に行けない。

(中西部会員)

歩行者しか行けないんですよ。だから自転車の方はこの第1駐車場の前に出てしまうと、下に降りて、第2駐車場ぐらいでUターンして上がって行かないといけない。

(事務局)

検討している矢羽根の入れ方も、この箇所が課題になっていまして、下ったところで横断歩道を渡って、鳴門山トンネルに行くことになっています。

(森下部会員)

第1駐車場に車を持ってきて、そこから行くっていう人は多いと思うんですよ。そういった場合に、やはり鳴門山トンネルの方に抜けられる方法はあった方がいいですね。下まで行っていくのは、私たちはわかっていますが、知らない人はあそこで曲がれるとは思わないですね。

(山中部会長)

どういう利用がされるかですね。車に自転車を積んできて、駐車場に駐めてという人が出てくると新たな議論がでてきますね。

(事務局)

そこはまだ妙案ができていませんので、引き続き検討したいと考えています。

(以上)